

すぎのこ

174

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2024 4/1

事務局:〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
映画研修センター:〒350-1315 埼玉県狭山市北入曽695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
施設研修センター:〒377-1611 群馬県吾妻郡嬪恋村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-10152面・3面 巡回公演だより／園
からの声
4面 制作だより／演育ワークシ
ョップ／新作紹介／活動記録
ほか<http://www.suginoko.org/>E-mail: support@suginoko.org公益財団法人としての
あるべき姿を目指して

理事長 大場 隆志

常に苦しい状況を強いられ、ま

様々な分野で行ってまいりました。
主にスポーツ施設、商業施設、温
浴施設、公共施設、エンターテ
メント事業、劇団などです。劇団関係の事業については、二
〇一四年三月に二、五次元ミュー
ジカルの「映劇株式会社」を、二
〇一五年十月にはマスケプレーミ
ュジカルの「株式会社劇団飛行
船」の事業再生を手掛けてきまし
た。劇団飛行船の再生については、
早稲田大学IT戦略研究所のケー
ススタディとして取り上げられて
おります。そちらのサイトから、「劇団飛行船 人形劇団五十年の経
営戦略」という見出しで紹介され
ておりますので、ご興味のある方
はご覧いただけますと幸いです。その資料にも書かれております
が、劇団飛行船は約三年で過去最
高利益を達成し、債務超過状態に
あった累積損失を解消することに
成功しました。売上高六億七八〇〇万円、営業
利益六五〇〇万円、営業利益率九
六％という数字は、業界水準から
するとほぼ最高レベルの利益水準
となりました。その後、二〇二〇年一月頃から、
新型コロナウイルス感染症が広ま
りました。

コロナ禍を経て、劇団業界は非

常にも苦しい状況が続いております。
演劇活動を続けることも、続け
ないことも苦渋の決断を迫られて
いる状況です。そのような状況において、私た
ち公益財団法人すぎのこ芸術文化
振興会は、私たちの劇団が生き残
るためだけでなく、他劇団の援
助と更なる発展のお手伝いをする
ことを決意致しました。そして、様々な団体の皆様と協
力関係を築き、それぞれの劇団の
伝統を守りながら、更なる発展に
寄与してまいります。私たちが目指す大きな柱は三つ
です。一、演劇としての教育の確立
二、劇団としての経済的自立
三、日本全国と世界への展開一つ目の演劇としての教育の確
立は、単に演劇作品が持っている
情動的な教育を広めるだけではな
く、これからのAI時代に必要な、
人間としての表現力、コミュニケ
ーション力、そしてAIには真似
できない想像力から生まれる創造
力を養う教育として、私たちが提
唱してきた「演育」を教育として

確立していきます。

二つ目の劇団としての経済的自
立は、日本の劇団業界で観客を集
めて興業することで生まれる利益
だけで生計を立てている組織は極
めて少ないことから、私たちは公
演関係収入、教育関係収入、イベ
ント関係収入などから生まれる利
益で経済的自立の実現を目指して
いきます。三つ目の日本全国と世界への展
開については、少子高齢化が加速
していく日本での展開方法の模索
と、日本の市場規模だけでなく海
外への展開を積極的に進めていく
ということです。デイズニールゾートやユニバー
サルスタジオなど、日本で展開さ
れているテーマパークは、得た収
入の多くを、ロイヤリティとして
アメリカの本社に支払っています。
日本で造られているテーマパー
クは、日本のお金を使って建設さ
れ、日本の労働力で運営され、多
くの日本人によって消費されたお
金をライセンス料としてアメリカ
に支払っているということです。日本はアニメやゲームなどで多
くの知的財産を生み出しています
が、マネタイズができていません。
例えば、アジアでの人気キャラ
クターランキングでは、一位がド
ラえもん、二位がハローキティ、三位がミッキーマウスです。
ある意味で猫がネズミに勝って
いるのですが、キャラクターがも
たらす収益では、大差でネズミに
負けているということになります。の意味で日本の芸術文化の発展に
寄与してまいりたいと思います。
これからも何卒、公益財団法人す
ぎのこ芸術文化振興会をよろしく
お願い致します。

巡回公演だより



たのきゅうの うわばみだいじ 班

「たのきゅうのうわばみだいじ」班は3学期、首都圏と九州で巡回公演をしていました。寒い季節でも子どもたちは元気いっぱい。笑ったり、歓声をあげたり、泣いてしまったり…。子どもたちそれぞれの年齢や発達で、人形劇から様々なものを感じとってくれているような気がします。

上演後は俳優の私たちが人形を持って、子どもたちと触れ合うことがあります。

私がうわばみの人形を持って近づくと、0歳の赤ちゃんはたいいて泣いてしまします。うわばみが怖いと言うのがありますが、この

「そうだったのか!」と言って合点がいった満足気な表情を見せてくれます。

うらかな春の日差しが心地よく感じられる4月。

子ども達は進級し、一つ大きくなりました。また一年たきさんのことを経験して、たくさん心を動かして、成長していくのでしょうか。私たちの人形劇も、そんな子どもたちの健やかな成長の一助になれば幸いです。

もぐもぐ 劇場 班

(霍 猛)

お話でうわばみが悪役であることを赤ちゃんたちも分かっているのではないかと思うこともあります。1、2歳の子どもたちになると、少し反応が変わってきます。緊張した面持ちでおそろおそろですが、うわばみを感じることが多いです。触ることはできてもらはり怖くて、少しうわばみが動くだけで、「怖いー!」と、保育士の先生にしがみつく姿が微笑ましいです。

3歳以上の子どもたちになると、がらりと反応は変わります。人形や舞台に興味津々で、私たちに感想を聞かせてくれたり、「どうしてこんなふうにくるの?」等、質問をしてくれたりして、その積極的な姿に感心します。私の人形を見せながらカラクリを説明すると、

今年の8月1日すぎのこは、創立60周年を迎えます。この間に、巡回公演の様子もだいぶ変わってきました。今でも、旅公演は長い時で一ヶ月余りありますが、私が入団したころは、長い時は2か月の旅公演でした。そして、宿はユースホテル中心で、旅館も多く、今のビジネスホテル・シングルルームは夢のようでした。しかし、それはそれで、常宿などではリクエストに応じてカレライスを作ってくれたり、子どもが生まれたときは出産祝いをいただいたこともありました。また、宿で出会った人と飲みに行ったり、楽しい思い出も沢山あります。

また、カーナビ・携帯電話などもなく、前日に地図を開いて、道を確認したり、車の助手席の人は、

園からの声

たのきゅうのうわばみだいじ

■飯島東部保育園(長野県上伊那郡飯島町)

子ども達も職員ものめり込んで観てしまいました。(子ども達が自然に手拍子をしていたので、夢中になっているのが感じられました。)ワクワク、ドキドキがいっぱいでした。ありがとうございました。

■栄保育園(千葉県匝瑳市)

子どもたちは初めての人形劇だったが、とても楽しみにしていて1個目の「こねこ毛糸玉」の「ネコの動きがおもしろかった!」と終わった後も言っていました。動きもネコそっくりで驚きました。「たのきゅうのうわばみだいじ」は初めて聞く話でしたが、演じている方々がおもしろかったの子どもたちも集中して見ていることが出来ました。大興奮で終わってからもずっと友だちと話していました。大人も楽しめました!! ありがとうございます。

金のお銀のおの

■認定こども園みさと幼稚園(高知県高知市)

「絵本でみたことある」と伝えてくれていた子ども達も、人形を使

つてのお話にまた違った面白さを感じているようでした。「なかなかみだがでそう」「やさしくなりたいな」等口々に話す姿も見られ、お話から感じとったことが、たくさんあったようでした。

■たちばな幼稚園(高知県南国市)

子どもたちの掛け声が始まるのも、わくわくして面白かった。人形とともに挨拶して下さったこと、見送って下さったことで、子どもたちが、親しみの気持ちをもっていました。カラスが、とてもいい間をつないで、子どもたちが、よく笑っていました。

おむすびころりん

■住吉保育園(大阪府池田市)

うさぎとかめの話が楽しく、2歳児クラスの子どももわかりやすくとても良かったです。おむすびの歌も、子どもたちが口ずさみ、振付を楽しみながらしていたので、楽しかったです。来年もぜひ、みるかさんに来園して頂けたら嬉しいです。

■栄合保育所(千葉県匝瑳市)

とても楽しかったです。子どもたちも、大喜びでした。(次の日の給食、おむすびにしました!)

3枚のおふだ

■鴨島中央認定こども園(徳島県吉野川市)

少し怖がる子どももいましたが、泣く子はいなく、楽しんでいました。やまんばが追いかけるシーンも、おもしろおかしく演出されていて、子どもたちは大笑いで、すごく喜んでいました。写真撮影の時も、小さい子どもには、直前に人形を出し、怖くないよう配慮してくださり、ありがとうございました。

もぐもぐ劇場

■あけぼの保育園(静岡県静岡市)

「3びきのこぶた」は、誰もが知っていたので、題名を見た時から「知ってる」などと盛り上がりつつみていました。「ねずみの嫁入り」は、知らない子もいたようでした。でも、どちらの作品も、お話の世界に引き込まれ、大笑いしたり、時にはハラハラしたりと、いろいろな表情が見られました。絵本や紙芝居を見る機会はあるのですが、人形劇を観る経験がない子もいるので、とても良い経験ができました。ありがとうございました。

▲鹿児島市 谷山善き牧者幼稚園 より



▲鹿児島県阿久根市 認定こども園あぐね園 より



「次の信号を右」：とか、地図をみていました。地図を見るのが苦手なある人は、「私は地図見：でなく、地図持ちですぬ」と言っていました。(笑)

開演時間に遅れそうで、施設に連絡しなければならぬ時は、「電話ボックスはないかー!」と車で走りながら見つけ、電話していました。今は電話ボックスを探すこともしなくてよくなり、携帯電話で連絡できます。

現場と同様、営業も以前とは、大違いです。当時は、紙媒介で各県の幼稚園・保育園の名簿をみて、電話をしていました。手紙も、書類も、手書きで書いていました。それが、今はパソコンです。便利になりました。大きな変化です。

これからも、世の中の状況が変化中、劇団創立以来のテーマである「どの児童(子)にもナマの舞台の感動をー」を追求し、上演をしてまいります。今年度も、「もぐもぐ劇場」をよろしくお願いたします。

(下村 明)

三まいの おふだ 班

笑顔と涙、両方の「やまれば怖い!!」をたくさん聞いたこの半年。目を隠しながら、先生にしがみつきのながら、お友達とくっつきながら、怖いけど、それでも見たい! そんな子どもたちの姿を多く目にしました。はらはらドキドキ、楽しんでもらえたでしょうか。

「怖い」という感情を小さな心で整理するのは、まだまだ大変だと思えます。大人でさえ、自分の心を感じることを受け止めるのは



難しいですもんね。でも、これから様々なことを経験していく中で、自分が「怖い」と思ったものに直面したとき、自分を守るためにどうしたらいいのか。それは、今日一緒にくっついてくれたお友達や、抱きしめてくれた先生がいてくれるということをお願い出してください。小坊主さんに和尚さんのような頼れる大人がいるように、みんなの周りにも助けてくれる人が必ずいます。

お札のように魔法の力はなくとも、みんななら乗り越えられると信じて。子どもたちの成長と幸せを願いながら、これからもお話を届けていきたいと思えます。

(吉田 薫)

金のおの 銀のおの 班

観劇後、舞台の片付けをしていると、子どもたちの声が響き渡る。「おいらの斧が… Oh no…」と、劇中のセリフを言いながら、そのシーンを思い出して笑う男の子。



車に荷物を運びに行けば、「たのしかったよー!」とウキウキした声で駆け寄ってくる子どもたち。そんな観劇後の反応が嬉しい。観劇前、子どもたちにとって私たちは「知らない人」である。でも劇が終われば、たくさん話したかのように心がほぐれていることを感じる。それは子どもたちに限らず先生方もだ。その変化を感じる中で、言葉を交わすことだけがコミュニケーションではない。観劇もコミュニケーションのひとつの形であることに気づかされた。そして同時に子どもたちの素直さから大事なことを学んだ。どこがどうだったか、具体的に劇の感想を言語化することが難しくとも、「たのしかった!」にすべて詰め込んで満面の笑みで伝えてくれる。その一言で十分伝わるものがある。

2023年度、「みにくいあひるのこ」「金のおの・銀のおの」の制作担当になり、自分が手がけた作品を演者として1年間、多く

2024年度 公演予定

時期 地域	5～8月	9月～12月	1月～3月
北海道	金のおの 銀のおの		
東北		たのきゅうの うわばみだいじ	
関東	たのきゅうの うわばみだいじ		金のおの 銀のおの
新潟・北陸			
東海・近畿			たのきゅうの うわばみだいじ
中国		マーリャンと まほうのふで	
四国			マーリャンと まほうのふで
九州	マーリャンと まほうのふで	金のおの 銀のおの	たのきゅうの うわばみだいじ
沖縄		ねずみの 嫁入り	

〈その他〉

- ・そっくりのくりのき
- ・ルルとロロの宝さがし
- ・かもとりごんべえ

関東を中心に上記の作品も上演しております。
お気軽にお問合せください。

おむすび ころりん 班

(長谷川 唯)

3月を以ておむすびころりんの作品は4年間の全国巡回公演を終了した。
おむすびころりんの作品に関わ

の子どもたちに届けられたこと。また、「私たちも楽しませてもらいました」「みにくいあひるのこ、感動しました」と大人の方にも温かい感想を直接いただけたことが、お話作りの自信に繋がり、とても嬉しかった。

新年度に入り、自分が作品から離れても作品はずっと残る。演者によって色を変えながら、これからは観た人の思い出に残る人形劇であることを願う。



ったのは2回目、再び関わると思った時に、作品の締めを担当する事が嬉しかった。

昨年度はコロナが5類になった初めての年で、有難い事に巡回公演の回数が増え、2年前にあまり

上演出来なかったリベンジが出来て自分としても達成感みたいなものを感じた。

ただ昨年度は体調を崩して声が思う様に出ない一年間でもあって、肉体的にも、精神的にも追い詰められた。

その中でも子どもたちが真剣にお話を見る姿勢や楽しそうな笑い声、たまにはこつちがつい笑ってしまった様な発想にはとても助けられた。この時間が好きなのだと思えて気づけて良かったと思う。

私は体調回復の為、しばらく現場を離れる事になったけれど、この思いを胸にまた戻って来れる様に頑張りたいと思う。

(七海 美流歌)



制作 だより

ドキドキワクワクの新学期が始まりました。ご入園、ご入学、ご進級の皆さまおめでとうござい

ます。狭山の事務所の近くには桜の木が沢山ある公園があり、駅まで歩いて帰るときに通るのですが、夜桜にライトが照らされてとっても

綺麗でいつもと違う雰囲気

に新鮮な気持ちで帰宅しています。

巡回地域によっては行く先々の気候の違いで、長く桜を楽しめる班もあったりします。私は基本的にずっと事務所で仕事をしてい

ますので、巡回班のお土産話を楽しみに待ちたいと思います。新生活で環境が変わり不安と期待でいっぱいの方も多いかと思

いますが、すぎのこでも1年ごとに作品のメンバーを入れ替えて4月頃から心機一転新たなメンバーで

(曹谷 香純)

新作 紹介

マーリャンと まほうのふで

脚本：浅野茜子
演出：石山和佳
人形・舞台美術：吉川潔（アトリエ・パネンカ）
音響：葛西千里



すぎのこ60周年の記念となる、2024年度の新作は、中国の昔話『マーリャンとまほうのふで』です！

このお話は、日本の『桃太郎』のように、中国では誰もが知っている昔話です。絵を描くのが大好きな男の子マーリャンが、ある日仙人から、描いた絵が本物

になる魔法の筆をもらいます。自分の描いた絵で、次々と人を助けるマーリャン。日本ではあまり馴染みのないお話ですが、その中には、国が違って変わらない優しさと夢が詰まっています。

SNSが普及し、様々な情報を簡単に手に入れることができ、また自ら発信することもできるようになった現代。異文化が身近になる一方で、真偽の不確かな情報に惑わされより溝が深くなる一面も出てきました。そんな時代だからこそ、以前よりも一層、個人同士の心の交流が求められているのではないかと思います。

創立当初から中国との文化交流を続けてきたすぎのこ。60年の節目の年に、中国の人たちの心に根ざすお話を、可愛らしい人形と共に全国の子どもたちに伝えます。子どもたちの柔らかい感性で、文化の違いを超えた心と心の交流を感じ取ってくれたらと願っています。



講習会報告 演育ワークショップ

2023年度最後の演育ワークショップを、1月10日埼玉県飯能市にあるさゆり幼稚園において実施いたしました。今回は、おはなし演育の中から、「かちかち山」のお話を題材にそれぞれの登場人物の気持ちになって考えてみることを中心に行いました。なぜ、そうしたのか？という問いに対して、子どもたち一人一人が考え、意見

を発表してくれました。その中には、とてもユニークな意見もありました。

「おはなし演育」は、ただストーリーを伝えるだけでなく、物語を手段として活用し、「きいて」「みて」「よんで」「考える」という行為を通して、子ども達の気づきを得ることを目的としています。おかげさまで、来年度も引き続き

子ども たちの絵、 大募集！

劇団すぎのこ60周年記念作品「マーリャンとまほうのふで」の制作を記念して、子どもたちの絵を募集します。

応募していただいたみなさんの絵は、すぎのこのHP、SNS等に掲載させていただきます。

募集締め切り…令和6年6月30日（日）

参加資格…小学生以下のお子様
募集作品のテーマ…「マーリャンのまほうのふで」にちなんで、まほうのふでがあつたら描きたい絵をお待ちしています！

※「まほうのふで」とは：描いたものが本物になる筆のことだよ！

画材は、水彩、色鉛筆、クレヨン等、何でもOK。大きさはA4判（210×297mm）以内。

応募の中から、何点か巡回車に貼って、日本全国を巡回します

参加方法…作品を下記提出先まで

メール、又は郵送にて送付してください。

提出先・問い合わせ先

〒171-0022

東京都豊島区南池袋4-19-6

日の出ビル2F

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会 事務局

☎03-3984-2396

Mail: support@suginoko.org

※メールでの応募の場合は、Jpegファイルとし、本文に以下の事項を記入すること

※郵送での応募の場合は原本の裏に以下の事項を記入すること
郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢（学年）・電話番号（携帯可）・タイトル（作品名）

ペンネーム、匿名での応募をご希望の方はその旨をお伝えください。

なお応募は一人1点までとなります。

「演育ワークショップ」のご依頼をいただきました。理事長先生、園長先生をはじめ、この2年間に行った「演育ワークショップ」に対する先生方のご意見を参考に、子どもたちが楽しく演育ワークショップを実践できるようにしていきたいと思っています。

尚、年齢・時間・回数などにより、内容は変わりますが、お気軽にお問合せ下さい。



活動記録（令和6年1月～3月）

- 1/9 第三学期全国巡回公演開始
- 1/10 演育ワークショップを実施
於・さゆり幼稚園（埼玉県飯能市）
- 2/5 第25回定例理事会 於・当公益財団事務所
- 2/22 第9回臨時評議員会 於・当公益財団事務所
- 3/27 第三学期全国巡回公演終了
- 3/31 令和5年度事業計画書並びに収支予算書を内閣府に提出